

【シャシャンボ(小小坊)とは】

庭木図鑑 植木ペディアの記述

- 関東南部から九州までを原産とするブルーベリーの仲間で「日本のブルーベリー」あるいは「ワイルドブルーベリー」等と称して親しまれる。
- 晩秋になると黒紫色に熟す実は「サシブ」と呼ばれる。直径5～6mm程度で甘酸っぱく、生食できる。ブルーベリー同様、表面には粉白を帯びる。
- 小さな果実が並んで実る様を「小小坊」と表現して名付けられた。
- 樹形が整いにくく、本来は庭木とするような木ではないが、初夏に咲く壺状の花を觀賞したり、落葉性のブルーベリーの代用として庭植えされるようになった。関東地方ではあまり馴染みがないものの、関西地方では普通に見られる。
- 樹齢を重ねると木肌がツルツルになり、サルスベリに似る。

R3.6.18撮影 普門神田神社の仮本殿前(photo by naochan)



葉裏主脈上の小さな突起状の刺を確認しました

松江の花図鑑より



シャシャンボの果実 (サシブ/ワイルドブルーベリー)

葉裏主脈上に小さな突起状の刺がある。(松江の花図鑑より)

捻木(ネジキ)の実 R3.7.9撮影



ツクバネの成長 R3.7.9撮影



右の写真はいずれも  
普門神田神社の境内で  
撮影したものです  
今後も 成長の様子を  
記録していきたいと  
思っています。  
photo by naochan